

宍粟市 子ども・子育て支援 新制度におけるニーズ調査 (案)

(小学生保護者用)

調査ご協力のお願い

皆さまには、日ごろから市政に関するご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

平成 24 年 8 月、国において「子ども・子育て支援法」が制定され、「子ども・子育て支援新制度」が平成 27 年度からスタートする予定となり、各自治体は「子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなりました。

この計画は、国が示す基本方針に基づき、宍粟市の子育て支援の必要性を把握し、地域の実情に応じた子育て支援施策を整備する事業計画です。

このため、宍粟市においても事業計画策定に向けた基礎資料を得ることを目的として、市民の皆さまの子育て支援に関する生活実態、ご要望・ご意見などをおたずねするため、「宍粟市 子ども・子育て支援 新制度におけるニーズ調査」を実施することといたしました。

この調査は、平成 25 年 10 月 1 日現在、小学生のお子さんがいる 1,000 世帯を無作為に抽出し、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただき、個々の回答内容を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることは、一切ございません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ニーズ調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 11 月

宍粟市長 福元 晶三

【ご記入にあたってのお願い】

1. 調査票には、できる限り**お子さんの保護者の方**がご記入ください。特に、ことわりのある場合以外は、**封筒のあて名のお子さん**のことについてご記入ください。
2. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
3. 選択肢の場合、お選びいただく数か設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、**24 時間制**(例：午後 5 時→17 時)でご記入ください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、**ことわり書きや矢印に従って**ご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。

※ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の**返信用封筒(切手不要)**に入れて **12 月 8 日(日)まで**にご投函ください。

※ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、お手数ですが下記までお願いいたします。

【問合せ先】 宍粟市 健康福祉部 社会福祉課 児童福祉係

電 話：0790-63-3067

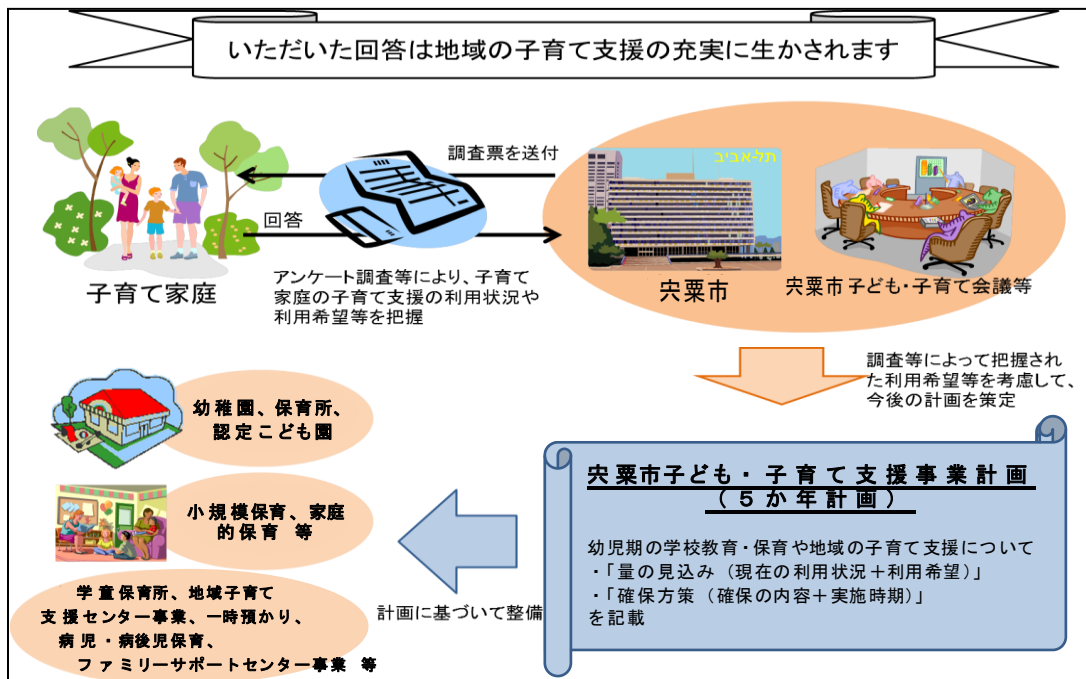
ファックス：0790-63-3062

メー ル：jidofukushi-kk@city.shiso.lg.jp

回答するにあたってお読みください

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援をめざしています。



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおりです

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

封筒のあて名のお子さんご家族の状況
についてうかがいます。

国・必須 問1 お住まいの小学校区はどちらですか。(〇は1つだけ)

- | | | | |
|------------|------------|-------------|-------------|
| 1. 山崎小学校区 | 2. 菅野小学校区 | 3. 城下小学校区 | 4. 戸原小学校区 |
| 5. 河東小学校区 | 6. 神野小学校区 | 7. 伊水小学校区 | 8. 都多小学校区 |
| 9. 土方小学校区 | 10. 神戸小学校区 | 11. 染河内小学校区 | 12. 下三方小学校区 |
| 13. 三方小学校区 | 14. 繁盛小学校区 | 15. 波賀小学校区 | 16. 野原小学校区 |
| 17. 道谷小学校区 | 18. 千種小学校区 | | |

※小学校区が分からない場合は、お住まいの地区名又は自治会名をご記入ください()

国・必須 問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

平成 () 年 () 月生まれ

国・任意 問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。数字を()内にご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子(一番小さいお子さん)の生年月をご記入ください。

子どもの数 () 人 末子の生年月 平成 () 年 () 月生まれ

国・必須 問4 この調査票にご回答いただく方は、あて名のお子さんからみてどなたですか。(〇は1つだけ)

1. 母親 2. 父親 3. その他()

国・必須 問5 この調査票にご回答いただいている方には、配偶者はいらっしゃいますか。(〇は1つだけ)

1. いる 2. いない

国・必須 問6 あて名のお子さんの子育てを主に行っている方は、お子さんからみてどなたですか。(〇は1つだけ)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

国・任意 問7 あて名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方(施設)を、お子さんからみた関係でお答えください。(〇はいくつでも)

- | | | | | |
|----------|-----------|-------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 小学校 |
| 6. 学童保育所 | 7. その他() | | | |

「学童保育所」とは、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

国・任意 問8 あて名のお子さんの子育てに、もっとも影響すると思われる環境は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|-----------|-------|--------|----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 小学校 | 4. 学童保育所 |
| 5. その他() | | | |

国・任意 問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問10へ |

問9で「1.」または「2.」に〇をつけた方にうかがいます。

国・任意 問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族が子育てに協力してくれて、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問9で「3.」または「4.」に〇をつけた方にうかがいます。

国・任意 問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 友人・知人が子育てに協力してくれて、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

国・任意 問10 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. いる/ある ⇒ 問10-1へ | 2. ない ⇒ 問11へ |
|-------------------|--------------|

国・任意 問10-1 問10で「1. いる/ある」に〇をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 小学校教諭 | 4. 学童保育所などの指導員 |
| 5. 近所の人 | 6. 子育て支援センター等 |
| 7. 保健福祉センター | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て関連担当窓口(家庭児童相談室) |
| 11. その他 () | |

国・任意 問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

あて名のお子さんの、保護者の方の就労状況についてうかがいます。

問 12 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

国・必須 (1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】（○は1つだけ）

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	⇒ (1) -1^
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒ (2) ^
6. これまで就労したことがない	

※フルタイムとは、1週5日程度・1日8時間程度以上の就労をいいます。

国・任意 (1) -1 (1)で「1. ~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。

1週あたり () 日 1日あたり () 時間

国・任意 (1) -2 (1)で「1. ~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は必ず(例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

家を出る時刻 () 時 ~ 帰宅時刻 () 時

国・必須 (2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない	⇒ (2) -1^
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒ 問 14 ^
6. これまで就労したことがない	

※フルタイムとは、1週5日程度・1日8時間程度以上の就労をいいます。

国・任意 (2)-1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。

1週あたり ()日 1日あたり ()時間

国・任意 (2)-2 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護・休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

家を出る時刻 ()時 ～ 帰宅時刻 ()時

国・必須 問13 問12の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つだけ)

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

国・必須 問14 問12の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 今は子育てや家事などに専念したい
 2. 1年より先、一番下の子どもが () 歳になったところに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
- | | | |
|------------------------------|---|---|
| { | <ol style="list-style-type: none"> ①. フルタイム ②. パートタイム、アルバイト等(「①」以外) | } |
| →1週あたり ()日 1日あたり ()時間 | | |

(2) 父親

1. 今は子育てや家事などに専念したい
 2. 1年より先、一番下の子どもが () 歳になったところに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
- | | | |
|------------------------------|---|---|
| { | <ol style="list-style-type: none"> ①. フルタイム ②. パートタイム、アルバイト等(「①」以外) | } |
| →1週あたり ()日 1日あたり ()時間 | | |

あて名のお子さんの、放課後の過ごし方についてうかがいます。

国・必須 問15 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも）また、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。「学童保育所」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）17時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 放課後子ども教室 ※1	週（ ）日くらい
5. 学童保育所	週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで
6. ファミリーサポートセンター	週（ ）日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

国・必須 問16 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも）また、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。「学童保育所」の場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）17時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 放課後子ども教室	週（ ）日くらい
5. 学童保育所	週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで
6. ファミリーサポートセンター	週（ ）日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい



国・任意

問 17 問 15 または 問 16 で「5. 学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。((1) (2) それぞれに○は1つだけ) また利用したい時間帯を、() 内に(例) 8時~18時のように24時間制でご記入ください。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 () 時から () 時まで
--	---	-----------------------------

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 () 時から () 時まで
--	---	-----------------------------

国・任意

問 18 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。(○は1つだけ) また利用したい時間帯を、() 内に(例) 8時~18時のように24時間制でご記入ください。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 () 時から () 時まで
--	---	-----------------------------

あて名のお子さんの、地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

国・任意

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。以下の事業ごとに、A~Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい (利用を続けたい)	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①保健福祉センターの母親・両親教室	1	2	1	2	1	2
②保健福祉センターの子どもの健診や相談サービス	1	2	1	2	1	2
③青少年育成センターの子どもと家庭、青少年の悩み相談	1	2	1	2	1	2
④子育て支援センターの親子・グループ教室、施設の開放	1	2	1	2	1	2
⑤ファミリーサポートセンターの会員制預かり等サービス	1	2	1	2	1	2
⑥保育所や幼稚園の園庭等の開放	1	2	1	2	1	2
⑦子育ての総合相談窓口 (健康増進課家庭児童相談室)	1	2	1	2	1	2
⑧広報六粟の子育てパーク、 母子健康カレンダー	1	2	1	2	1	2

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

国・必須 問20 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで小学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問20-1へ 2. なかった ⇒ 問21へ

国・必須 問20-1 あて名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

1年間の対処方法	日数
①. 父親が休んだ	() 日
②. 母親が休んだ	() 日
③. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	() 日
④. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	() 日
⑤. 病児・病後児の保育を利用した	() 日
⑥. ベビーシッターを利用した	() 日
⑦. ファミリーサポートセンターを利用した	() 日
⑧. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日
⑨. その他 ()	() 日

⇒ 問20-5へ

問20-1で「①.」「②.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

国・必須 問20-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ () 日 ⇒ 問20-3へ
 2. 利用したいとは思わない ⇒ 問20-4へ

国・任意 問20-3 問20-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。(○はいくつでも)

1. 他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業
 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリーサポートセンター等)
 4. その他()

⇒ 問21へ

国・任意 問20-4 問20-2で「利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安 2. 地域の事業の質に不安がある
 3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間
日数など)がよくない 4. 利用料がかかる・高い
 5. 利用料がわからない 6. 親が仕事を休んで対応する
 7. その他()

⇒ 問21へ

問 20-1 で「③。」から「⑨。」のいずれかに回答した方にかがいます。

国・任意 問20-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、「③」から「⑨」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても（ ）内に数字でご記入ください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ () 日 ⇒ 問 21 へ |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問 20-6 へ |

国・任意 問 20-6 問 20-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にかがいます。そう思われる理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他 () |

あて名のお子さんの不定期の一時預かり等の利用にかがいます。

国・必須 問21 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期就労等で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も()内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数(年間)		
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	() 日	⇒ 問 22 へ
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	() 日	
3. ファミリーサポートセンター (地域住民が子どもを預かる事業)	() 日	
4. ベビーシッター	() 日	
5. その他 ()	() 日	
6. 利用していない		

問21で「6. 利用していない」と回答した方にかがいます。

国・任意 問21-1 現在利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-----------------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 2. 利用したい事業が地域にない |
| 3. 地域の事業の質に不安がある | 4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない |
| 5. 利用料がかかる・高い | 6. 利用料がわからない |
| 7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない | 8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない |
| 9. その他 () | |

国・必須 問22 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期就労等で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい		計（ ）日
	①. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	（ ）日
	②. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	（ ）日
	③. 不定期の就労	（ ）日
	④. その他（ ）	（ ）日
2. 利用する必要はない ⇒ 問23へ		

国・必須 問23 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	①. （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	（ ）泊
	②. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保育する事業）	（ ）泊
	③. ②以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（ ）泊
	④. 子どもを同行させた	（ ）泊
	⑤. 子どもだけで留守番をさせた	（ ）泊
	⑥. その他（ ）	（ ）泊
2. なかった		

問23で「1. あった ①.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。
⇒①. 以外を選択した方は 問 24 へ

国・必須 問23-1 その場合の頼みやすさはどの程度でしたか。（○は1つだけ）

1. 頼みやすい 2. どちらかという頼みにくい 3. 大変頼みにくい



